

2027 年度（2027 年 4 月入学）以降の商学研究科（博士課程後期課程） 一般入学試験について

商学研究科（博士課程後期課程）では、2027 年度入学試験から、一般入学試験における〔出願資格〕〔出願書類〕〔試験時間〕〔試験科目および配点〕を、以下のとおり変更いたします。

なお、詳細については、2026 年 6 月頃に Web サイト上で公開する「2027 年度 商学研究科 学生募集要項」でご確認ください。

〔出願資格〕

次の（１）および（２）に該当する者

（１）次のア～キのいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、ア～オのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、本研究科入学までに 24 歳に達する者

（２）次のア～カのいずれかの条件を満たす者

- ア 国際連合公用検定英語試験 B 級以上に合格している者
- イ 実用英語技能検定試験準 1 級以上に合格している者
- ウ ケンブリッジ英語検定 B2 First 以上に合格している者
- エ 各日程の出願開始日から遡って 2 年以内に取得した TOEFL iBT® のスコア（My Best™ スコアを含む）が 80 点以上の者
なお、My Best™ スコアについては、2 年よりも前に受験したスコアが含まれている場合は無効とします。
- オ 各日程の出願開始日から遡って 2 年以内に取得した TOEIC® L&R テストのスコアが 750 点以上の者
- カ 各日程の出願開始日から遡って 2 以内に取得した IELTS のポイントが 6.0 以上の者

〔出願書類〕

- 志願票（提出用）
- 志望理由書
- 出身大学院の成績証明書
- 出身大学院の修了（見込）証明書
- 研究計画書

○ 出願資格（２）を証明する書類

- 在留カードまたはパスポートの写し
★ 日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く）
- 写真

出願資格 **ア**～**オ**で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者

- 修士論文の概要
- 修士論文の写し

出願資格 **ア**～**オ**で出願する者のうち、今年度末に修士論文を提出予定の者

- 修士論文計画書

出願資格 **カ**または**キ**で出願する者および専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合

- 業績報告書
- 研究業績

[選考方法]

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

[合否判定基準]

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

ただし、筆記試験または口頭試問の得点が基準点に抵触する場合は、総合得点に関係なく、不合格となることがあります。

【筆記試験免除者】

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、商学研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

[試験時間]

筆記試験	口頭試問（※２）
専門科目（※１）	筆記試験終了後
１０：００～１１：３０（９０分）	

※１ 本大学院商学研究科研究者養成・後期課程進学コース（２０１６年度以前入学生は研究者コース）の修了（または見込み）者で、志望専修科目担当者が博士課程前期課程と同じ場合、**筆記試験を免除します。**

※２ 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

[試験科目および配点]

専門科目	配点	口頭試問の配点
志望する専修科目について行う	１００	１００

以 上